



情報(第94号)



令和2年7月20日

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2階
銀座社会保険労務士法人 代表社員 吉国 智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL:<https://ginza-syaroushi.com/>

光市小周防にて：名前は知りません（令和2年7月10日）

人材育成の重要性



1 自分を裏切らないもの

お陰様をもちまして、今年度も人材育成（研修）について受託をしています。企業は人も、維持、発展には、役職員の資質が物を言います。

先般の研修では、「あなたにとって、この世で自分を決して裏切らないものは？」との設問を出し、討論、発表していただきました。出た意見は、「家族、親、自分」「食べ物、酒、音楽、車」、そして「金」です。人、物、金は、誰もが思いつくことです。面白い意見として、神、性欲、情、知識、時間というものがありました。絶対的な答えはない設問で、立ち止まって、生きるとはどういうことなのかを考えてみましょうとの企画です。

読者の皆さんは、どんな答えをお持ちでしょうか。毒舌を交え、私見を述べてみます。

2 分類その1「人」

設問は、「決して」裏切らないものです。家族、親、自分は、一般的には、裏切らないでしょう。しかし、相続事件では、骨肉の争いが多く、犬神家の一族（原作：横溝正史）はそうした事案です。大塚家具は親子の争いで、実は、一般的には裏切らないが、いざとなれば裏切って、しかも修復不可能です。

自分？それも日常的な裏切者ですよ。誰でもこれはいけないことだが、これくらいいいだろうと、日常的に自分を裏切っているではないですか（拙者だけですか？）。

3 分類その2「物」

たしかにPC、自動車、家、カメラ、装飾品などは、何かに変化することはありませんから、そういう意味では裏切りはないですね。しかし、信頼を寄せる対象ではなく、自己の欲求を満たしてくれる物であって、そもそも設問に対する答えとしてはやや視線が異なります。

消費は美德という言葉があり、物欲が異常に高まると、それがために万引きするとか、金銭の横領という事件はよくあることで、物欲は裏切り者です。

4 分類その3「金」

金は最大の裏切り者ですよ。数年前のこと、お世話になった故郷にと、稲盛和夫（京セラの創設者）さんが鹿児島県と鹿児島市に各 10 億円寄付されたとの報道がありました（立派です）。このような出来た方は例外で、国税局の査察部の方が語るには、脱税者には、男でも女でも愛人が存在するといえます。もちろん、この世で男女関係は労使関係と同じくらい複雑・難解な事項で、当事者以外には理解できず、それ自体、善も悪もありましょう。ここでいいたいのは、金がありすぎると、糟糠の妻を見下すなど人生が狂う人が多いのです。故に、金は人を裏切ります。古くなりましたが、テレサテンの「愛人」は、不倫の歌で、あれがヒットすることか

らすれば推して知るべしです。

最近、著名人の不倫騒動で、その者が活躍の場を失うことが多くあります。有名になると、金が集まる、すると誘惑も集まるのでしょう。快調に飛ばすときは、自己を引き締める時です。

5 分類「番外編」

神、性欲、情、知識、時間はいかがでしょうか。性欲、情は、その意見者の理由を聞かないと解説不能ですから、さておき、神と時間です。

神は、人の心に宿るものとするれば、神も自由気ままに裏切ると言えるでしょう。また、他国では、神のお告げと称して戦争が勃発しています。

時間は、なるほどと思います。裏切らないというより、誰にも平等との意見でしょう。しかしながら、カーナビゲーション装置は、上空 2 万キロメートルの衛星軌道上にある 4 つの衛星を利用しているところ、衛星と地球上では時間の流れが異なっているため、時差を補正して自動車の現在地を確認する仕組みになっているのです（アインシュタインの特殊相対性理論と呼ばれるものです）。このように時間は地球人と宇宙人とでは平等に流れないわけです。相当に屁理屈ですが、時間を効率よく使う方、浪費する方とあり、故に、平等ではなく、自分次第です。

6 努力

遊びを交えて記してきました。最後に、当職の意見を述べさせていただきます。

社会保険労務士となるには、当然ながら試験に合格しなければなりません。職歴から、社会保険科目は免除になりますが、労働法等はそうではありません。設問は、意地悪なひっかけ問題もあり、免除組でもその合格率は 10% 程度で、けっこう難解です。

かれこれ 20 年間、毎月、論文を書くことを続けていて、そのために読むことが習慣となっていたことが合格の大きな要因と振り返っています。昼間は仕事をして、夜、土日に勉強というのは、忍耐力が必要で、それも論文を書き続けることで培われたように思います。また、それは出版という成果にも繋がっています。

古い論文を読むと、くだらないこと、意味がわかりにくいことを書いており、恥ずかしくなるのですが、当時は、苦しみながら書いたもので、若い頃の苦労は買ってでもせよ、は実に正解です。

故に、「努力」は決して裏切りません。ある日、一念発起して読み始めたが三日坊主だったでは、効果は望めず、すぐに結果が出なくとも、小さくとも「継続」が必須です。継続する努力を目指していただきたいと思います。

当法人では、従業員研修の実施を承っております

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階

銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国智彦

TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565

E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp

URL: <https://ginza-syaroushi.com/>